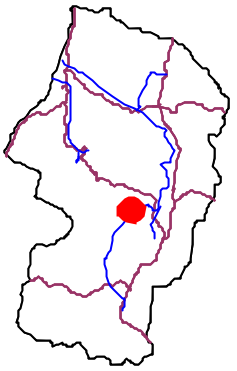
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	一般国道２８７号　和合（わごう）バイパス（補助：事業主体　山形県） （山形県西村山郡朝日町（にしむらやまあさひまち））

事業着手 :平成５年度	完成 ･供用の目標年度 :平成 17年度部分供用予定

事業の必要性 事業の概要

山形県



「事業の必要性」

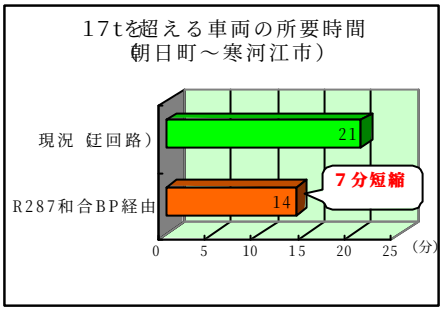
一般国道 287号における当該区間の現道は、集落内を通過し、幅員が狭く(W=5.5m)、急カーブ (R=60m)が存在しているため、特に冬期間はスリップ事故が多発しています。また、緊急輸送道路でありながら、昭和１２年に架けられた明鏡橋（めいきょうばし）は、幅員狭小(W=5.5m)で、17tの重量制限があり、災害時等の通行に大きな支障をきたしており、早急な対策が必要となっております。

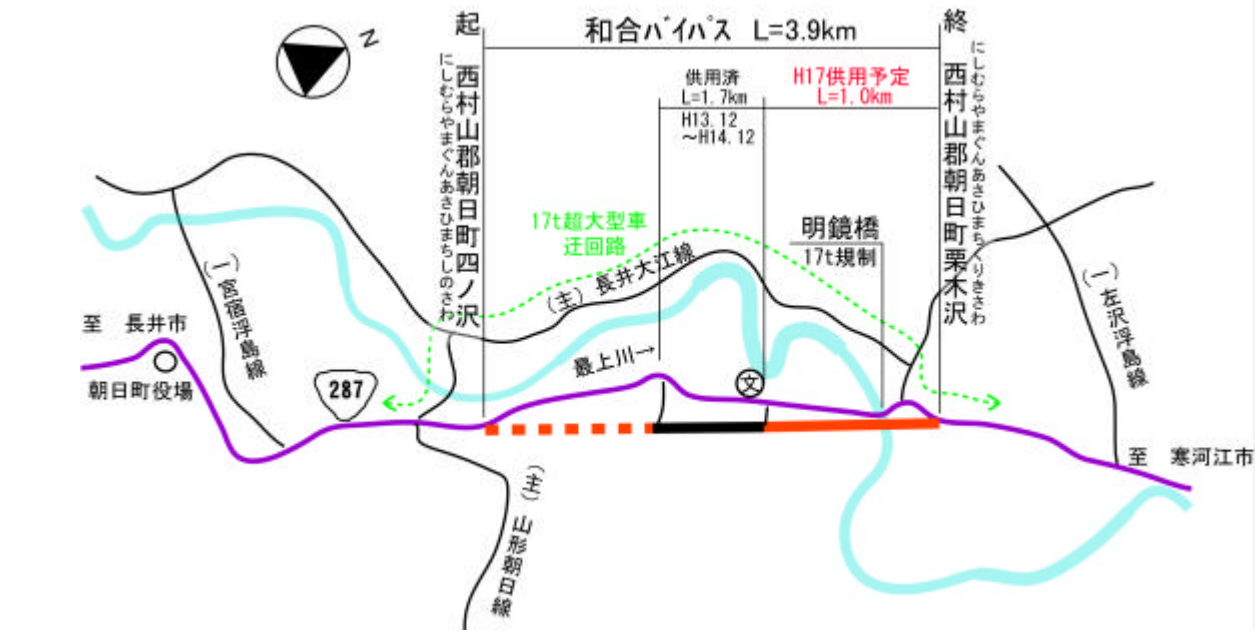
「事業の概要」

和合バイパスは、重量制限されている明鏡橋及び隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保、緊急輸送道路としての機能確保を目的とした延長３．９ｋｍのバイパス整備事業です。









平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：600百万円

○平成17年度は、新明鏡橋（しんめいきょうばし）を含めた、終点側L＝1.0km区間の部分供用を予定しています。

事　業　効　果

○明鏡橋の 17t通行重量制限の解除(国道 287号全線重量制限解除)

○ 17tを超える車両の所要時間(朝日町～寒河江市)が、７分短縮

○冬道安全道路整備率の向上(車道部幅員 8.5m以上)　現況〕5.5m→ 完成後〕9.5m